

発行所

(一社)愛知県山岳・スポーツ
クライミング連盟

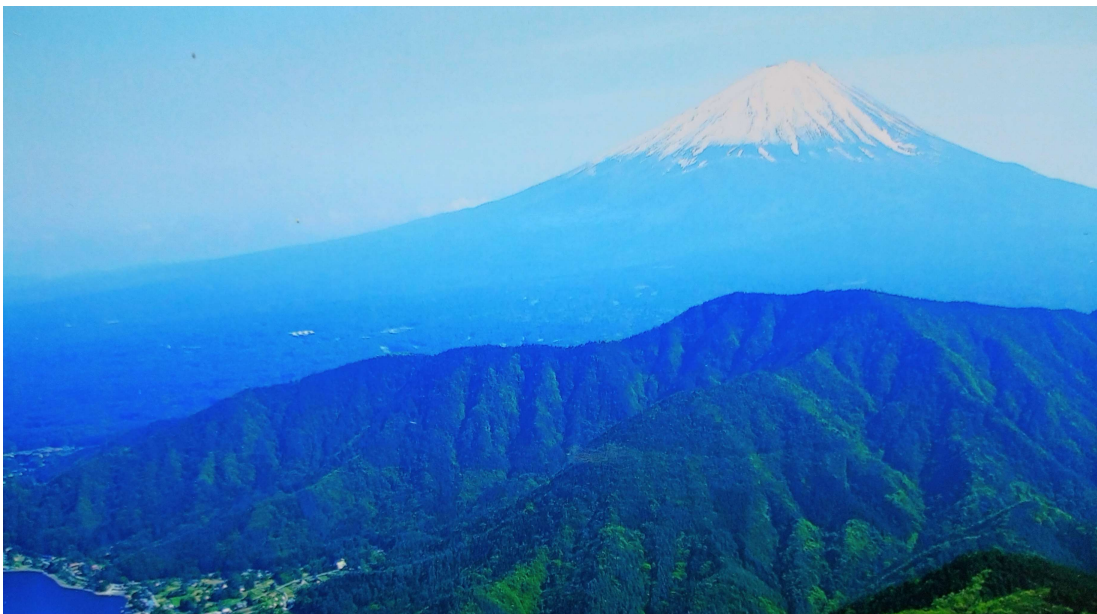
発行人 伊藤 智彦

編集人 北村 憲彦

名古屋市中村区名駅4丁目
24番地5号 第2森ビル401

◆3月9日 愛知山岳マラソン2024 於・猿投山

<https://aichi-sangaku.org>



毛無山から富士山を望む

PHOTO 中平等新一

新年のご挨拶

会長 伊藤 智彦



見ゆる限り

山の連なりの雪白し

初日の光 さしそめにけり

島木赤彦

明けましておめでとうござ
います。

加盟団体の皆様におかれま
しては、健やかな新年をお迎
えのこととお慶び申し上げま
す。日頃、ご理解とご協力を
賜り、心より御礼申し上げます。

冒頭の短歌は島木赤彦の詠
んだものを引用させてもらい
ました。

この冬、遠く雪の連山を仰
ぎ見て清々しい心持になつた
方もいらつしやることでは
よ。この数年間はコロナ禍に
あり、社会状況に憂慮せざる

をえない日々が続きました。
昨年は新型コロナウイルス感
染が五類に移行し、少し状況
も変わってきました。徐々に
本来の社会活動に向けて動き
出しました。今年はこの勢
いが加速することに期待したい
と思います。

我々の組織は令和五年十月
二日を以つて、一般社団法人
を設立するとともに、団体名
称を「一般社団法人愛知県山
岳・スポーツクライミング連
盟」に変更しました。この間
皆様からいただいたご理解と
ご協力に感謝いたします。

今後一層、組織運営の透明
性を確保し、ガバナンスの強
化充実を図ることに責任をも
つべきと考えます。

特にスポーツクライミング
は国体の山岳競技の種目であ
ります。本連盟には、県内の
統括団体として責任がありま
す。昨年は鹿児島県で特別団
体が開催されました。スポ
ーツクライミング競技において

本県の成年男女チームが活躍しました。殊に成年女子はリード競技2位(倉菜々子3位、高尾知那1位) ボルダール競技3位(倉菜々子2位、高尾知那14位) 女子総合3位と優秀な成績を残してくれました。今後の愛知選手団の活躍が期待されます。愛知県は2026年にアジア大会の開催を予定しています。今年はこの準備も一段と加速し、忙しい年になっていきます。

古い話で恐縮ですが、昭和の時代、週末には、新宿や名古屋の駅のコンコースからホームまで、夜行の列車を待つ人々があふれていました。大半がアルプスを目指す登山の

第27回遭難防止を考える会

今年縁あって、令和5年度国立登山研修所友の会総会研究会および国立登山研修所

令和5年度安全登山サテライトセミナーPlus②の一つとして、卓越した登山1件と安全登山啓発2件の講演が行われた。日時は2023年11月23日 13時〜17時30分で、会場は名古屋工業大学5

若者たちでした。中にはおよそ40キロ近くあるだろう大きなキスリングを背負い、重たい登山靴のニッカボッカ姿の豪傑もいました。日本中が登山を楽しんでいた時代がありました。みんな若く生き生きしていました。貧しいが楽しい時代でした。あれから半世紀……

現在の山岳を取り巻く状況は違っています。いずれもスマートに洗練されたような感じがします。しかし一番気になることは、若者の姿が多くありません。

登山は心も体も健康にしてください。長年高校生と登山を共に楽しんできた経験か

211教室に对面97名、オンラインで170名の多数ご参加いただいた。

究極のトレラン

岩瀬幹生 当連盟副理事長
T J A R 顧問 問

学生時代の夢「日本海から日本アルプスをすべて縦走して太平洋へ、しかも短い日数で」

ら、若者には素晴らしい人生を歩む基礎作りとして、登山を楽しんでほしいと思います。今後の登山文化の発展のために積極的に青少年にアプローチすることが肝要だと思います。

我々は今後時代の変化や課題に対応するためにも、柔軟な思考の下、新たな活動に取り組み必要があると考えます。

おわりにあたり、加盟団体の皆様の活動が安全に、より一層充実していきますようお願いしています。

に始まった着想は、ヒマラヤ遠征や国体山岳競技などの合間にも醸成された。コース取りのための試走として異なるルートで日本海〜北・中央・南アルプス〜太平洋への単独トレランも紹介された。どれも新鮮で創造的な登山として輝いている。これらの挑戦的な経験を重ねてT J A Rのルーは描き出された。後半では、T J A Rのような耐久的なトレランにおける危機管理の面から多くの経験や装備と使い方、注意なども具体的に語っ

目指せ！読図名人 地図アプリも上手に活用して賢く安全登山

河合芳尚

国立登山研修所講師



道迷いは年齢層に関わりなく、性別問わず発生している。数多くの道迷い遭難事例から代表的な原因を推定し、まず登山計画のポイントや登山中の注意点が示された。次に、各種の地図アプリの特徴を踏まえながら、計画や実行の場面ごとに、地図アプリでどんなことができるのかを具体的な活用の仕方が説明された。特に注意すべきは、不特定多数の登山者の歩行記録の閲覧で、とても便利で参考になるが、人それぞれの歩行速度も違うのでそのまま他人の記録データを鵜呑みにせず、自分のペースに合わせて修正して解釈することが大事と強調された。また、アプリの登山届と登山計画は別物で、アプリの情報も参考によく考えて登山を計画してほしいことも伝えられた。ただし、地図アプリの活用には、家族にリアルタイムで登山者の位置情報を伝えられる機能もあるので、ぜひ活用してほしいと呼びかけられた。

たので、実際に対面で物を見たり、話を伺いたいとの声が多数寄せられ、内容をさらにブラッシュアップして今回の講演は実現した。)

く、性別問わず発生している。数多くの道迷い遭難事例から代表的な原因を推定し、まず登山計画のポイントや登山中の注意点が示された。次に、各種の地図アプリの特徴を踏まえながら、計画や実行の場面ごとに、地図アプリでどんなことができるのかを具体的な活用の仕方が説明された。特に注意すべきは、不特定多数の登山者の歩行記録の閲覧で、とても便利で参考になるが、人それぞれの歩行速度も違うのでそのまま他人の記録データを鵜呑みにせず、自分のペースに合わせて修正して解釈することが大事と強調された。また、アプリの登山届と登山計画は別物で、アプリの情報も参考によく考えて登山を計画してほしいことも伝えられた。ただし、地図アプリの活用には、家族にリアルタイムで登山者の位置情報を伝えられる機能もあるので、ぜひ活用してほしいと呼びかけられた。



対話で考えよう、
 体と心の医学的見地から、安全登山に
 意識すること・注意すること

福島弓子 UJIA・ICAR・ISM認定DIMM取得看護師

事故の中でも致命的な事故
 となる転倒、滑落、転落、病
 的な人体の特性、加齢に伴う
 機能低下、厳しい山岳環境の
 影響などについて聴衆との対

第20回アジア競技大会

会期	2026年9月19日（土）～10月4日（日）
メイン会場	名古屋市瑞穂公園陸上競技場
選手団人数	3,600人～4,000人
参加国等	アジア45の国と地域
競技種目数	60種以上

第20回アジア競技大会（2026愛知・名古屋）
 に向けた競技運営能力向上に関する研修会（第1回）

話形式で説明された。マイク
 がバトンリレーのように次々
 と手渡され、福島講師の「さ
 すが！すばらしい！」に思わ
 ず笑顔になり、対話も弾んだ。
 医学的な体の働きの知識を
 ただ解説されるのでは違っ
 て、自発的な理解が促された。
 時には参加者全員が席を立っ
 て、元氣よく片手を胸の前に
 突き出しながらの「グッパ！

運動」、または「片足し立ち
 テスト」では開眼と閉眼で静
 止バランスを保てる時間も測
 定した。より実感をもって理
 解することができた。これか
 ら来る冬山についても対話を
 通じて、たとえば一番心配な
 低体温症などの特徴や備えに
 関する意識を引き出されてい
 た。

日時 2023年11月10日
 （金）、場所 愛知県教育会
 館 午後3時より5時まで
 表記の研修会に会長代理と
 して小生1名が参加した。
 第1回となるこの研修会
 は、アジア競技大会の運営に
 ついて、主催者の名古屋市・
 愛知県から公益法人として立
 ち上げた競技大会組織委員会
 と各スポーツ団体が集合し、
 開催に向けての課題を共有す
 るものである。
 研修会は左記の3件のテー
 マに沿って行われた。
 研修内容
 (1) 第20回アジア競技大会
 の競技運営について説明…
 (公財) 愛知・名古屋アジア

・アジアパラ競技大会組織委
 員会
 (2) 第19回アジア競技大会
 の競技視察報告 講師…(公
 財) 愛知・名古屋アジア・ア
 ジアパラ競技大会組織委員会
 (3) 東京オリンピックのス
 ポーツマネージャーによる講
 演 (公社) 日本トリアス
 ロン連合 常務理事・(二社) 愛
 知県トリアスロン協会 副
 会長 鈴木貴里代氏
 始めに競技大会に向けた進捗
 の説明と大会までのスケジュ
 ールの説明があった。
 (1) 第20回アジア競技大会
 の競技運営について
 競技大会に向けた進捗状況で
 は、実施競技と競技会場が決
 まり、パリオリンピック実施
 競技32（ポーツクライミン
 グが入っている）
 アジア5地域…： 武術太極拳、
 セパタクロー、カバディ、ク
 ラッシュユ、柔術、提案競技：
 ・野球・ソフトボール、空手
 OCA提案…： スカッシュ、E
 スポーツ以上の41競技が行わ
 れるとの説明があった。
 (2) 第19回アジア競技大会
 が、9月23日から10月8日の
 16日間に中国 杭州で行われ

た。愛知県では2026年に開催する競技大会に向けた視察が行われ、その報告があった。運営事例としての視察であるが、中国が潤沢な予算を用意し、威信をかけた大会であったとのことである。

◆大会までの競技運営業務のスケジュールについて

競技運営体制の構築の進め方については、まず大会時の競技運営についての体制づくりについての案が提示された。東京2020オリンピックの「基本体制をベースに、組織委員会による「雇用」と「出向業務委託」などにより、準備段階の計画設計策定から大会競技運営まで、「国内競技団体」の主体的な関りを促している。

当連盟が主体となるスポーツライミングでは、競技主体であるJMSCAは、来年はパリオリンピックが行われるが、その次に行われるアジア大会に臨む組織づくりも喫緊の課題である。また、当連盟の役割分担も、本年2月に行われる第2回以降の同研修会で表明していくことになる。

東海3県の各連盟も巻き込んで、会場運営委や選手の宿泊、応援体制などを行うことになる。総務委員会、競技委員会等が主体となるが、まずは当連盟の皆様のご理解を得ることが最も大事と考えている。

競技運営能力向上の研修会は、本年度の2月開催からは、具体的な協議運営体制、会場運営体制、会場応援の仕組み作りなど本格化していく予定である。理事会、加盟団体連絡会では、毎回大会運営など進捗状況報告を報告していく。皆様のご協力をお願いする次第である。(星一男)

令和5年冬山遭難対策会議を開催

12月19日(火) 19:30からweb会議方式で令和5年度遭難対策会議が開催されました。今回の入山対象期間は12月29日から1月8日までで、12人が参加して計画書を基にパネラーが山行内容の説明を行い、情報交換が活発に行われました。会議の冒頭に中川遭難対策委員長が、冬山

令和5年度 冬山入山状況

山域	No	団体名	登山期間	登山ルート	人数	リーダー氏名
北アルプス	1	チーム猫屋敷	12/30-1/3	涸沢岳西尾根→涸沢岳→奥穂高→	2	石原寛之
	2	豊橋山岳会	1/3~1/4	湯沢平~十石山~湯沢平	3	鈴木克己
	3	GSA	1/3~1/5	中崎尾根→槍ヶ岳~大喰岳西尾根	1	福島弓子
	4	やまびこ山想会	1/6~8	上高地→徳澤→蝶ヶ岳→徳澤	6	中西 恭子
	5	デンソー電友会山岳部	12/29~1/1	遠見尾根→五竜岳→遠見尾根	3	谷口 壮耶
	6	GSA	1/6~1/7	赤岩尾根~冷池~鹿島槍ヶ岳~冷池~赤岩尾根	2	福島弓子
南・中央アルプス	7	名古屋山岳会	12/29~31	奥念丈岳	2	武田康子
	8	チーム猫屋敷	12/28-1/1	三伏峠→塩見→三伏峠	3	鹿島崇人
	9	豊川山岳会	12/29~30	避難小屋→将棋頭山~避難小屋	6	河合芳尚
	10	名古屋山岳会	12/29~31	滑川→スヤマ尾根→三ノ沢岳→木曾駒ヶ岳→上松尾根	2	吉村 賢
	11	名古屋山岳会	1/6~1/8	仙丈ヶ岳三峰川岳沢	3	斎藤祥子
	12	岡崎山岳会	1/6~1/8	畑薙→茶臼小屋→上河内岳→茶臼小屋→畑薙	1	中島 義政
八ヶ岳	13	豊田山岳会	12/28~29	山頂駅~天地峠~双子池~山頂駅	5	山本幸久
	14	豊田山岳会	1/6~7	中山峠~天狗岳~本澤温泉	4	山本幸久
	15	豊川山岳会	1/6~7	黒百合~天狗岳~黒百合	9	浅田 俊夫
	16	名古屋山岳会	1/5~7	八ヶ岳周辺	2	坂本欽吾
その他	17	豊川山岳会	2024/1/1	弥山尾根東麓~弥山~一般登山道	3	白井 良岳

での注意点や体調管理等を説明したのち、「年末年始は気温が上がるため雪崩を警戒し

「て欲しい」と述べました。また、ホワイトアウトに備え紙地図とコンパスは必須との説

入山計画は17パーティ・57名

第5回【登山勉強会】 ロープレスキュー

23年度第5回登山勉強会が「ロープレスキュー」をテーマに10月11日(水) 19:30~20:30にWebexを使ったweb会議形式で開催された。講師は高木宏氏(JSPPO:山岳コーチ2、所属:GSA)で、ロープレスキューの基本について理解することを学習目標として講義された。10月14・15日の救助講習会の事前勉強会でもあった。

内容は、①トツプを止めて要救助者をキヤッチし一緒に懸垂下降する、②要救助者をデイスタンスブレイキで吊り降ろす、③要救助者をレイジングシステムで釣り上げるであった。①の手順は、トツプの墜落を止めて自己脱出し、要救助者のところまで登る。要救助者の上部に懸垂下降のアンカーポイントを作成し、要救助者の元へ懸垂下降する。次に、ぶら下がっているロープ荷重を低減して要救助者をキヤッチする。メインロープを切断して、要救助者と

共に懸垂下降する。②の条件は2人以上いること。手順は、アンカーポイントを構築し、フリクションヒッチを作成する。確保器をロープに通し、ロープをコントロールし要救助者を岩にあたらぬようにして下降させる。③のレイジングシステムでは、滑車の原理を利用して、小さな力で重いものを引き上げるシステムについて1分の1から5分の1までのシステムについて解説された。最近、遭難や滑落事故が多く報告されており、救助できる登山技術を学んでおくことは重要と思われる。(やまびこ山想会 近藤千加子)

第3回理事会

12月5日(火)名工大、web定足数:11名、出席者数(理事)16名「出席者」対面:安藤、西山、星、栗木、北村、三嶋、web:伊藤、岩瀬、高木、中川、有富、倉、石川、

- 佐原、谷澤、多田、宮森、今泉。
- I 報告事項
- 1. 11/10 第20回アジア競技大会運営研修(愛知県教育会館)星副会長
- 2. 11/23 自然保護委員長会議(東京J.S.O.S)栗木副会長
- 3. 11/23 第27回遭難防止を考える会(名工大)岩瀬、北村
- 4. 11/26 J.M.S.C.A臨時総会(オンライン)伊藤会長
- 5. 12月度財務報告 谷澤・三嶋
- 6. 12月度競技力向上事業実施報告 倉
- 7. あいちトツプアスリートアカデミーユース意向調査 倉
- 8. 10/3 S.C高校選手権予選会(浜松) 佐橋・石川
- II 審議・お知らせ事項
- 1. 12/13 第7回登山勉強会オンライン 木田・高木・多田
- 2. 12/12 第2回加盟団体連絡会(名工大、オンライン)
- 3. 12/19 冬山遭難対策会議オンライン 中川・有富
- 4. 2024/1/7(日)

- 5. SCブロック別研修会(豊川高校)佐橋・倉
- 6. 年間行事日程の変更 岩瀬
- 7. 岳連ニュースの発行について(11/26中平等顧問から引継打合せ)
- 8. 組織関連の規程について
- 9. 役員名刺のレイアウト見本
- 10. 封筒の製作について
- 11. 自然保護委員会の登山道整備活動

編集体制の変更

この程、組織の社団法人化を機に中平等顧問のご尽力に頼っていた岳連ニュースの編集業務を事務局に移管することとなりました。

加盟団体の仲間の協力のもとに新たに「編集会議」を設置して記事の収集から編集、印刷、配送を進めて行きます。会員の皆さんの各クラブでの山行報告やスポーツクライミングの大会出場報告などもより広く掲載していきたいと思っております。写真を添えて編集会議にお届けいただけると幸いです。(事務局 今泉)

建設業許可を取りたい、日本国籍を取得したい(帰化)、遺言を公正証書で作成したい、戸籍謄本や除籍謄本を代行取得して欲しい、任意成年後見の相談をしたい、会計記帳を頼みたい等々

ご相談は行政書士の西山秀夫へ

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目21番21号
(地下鉄・久屋大通駅から徒歩2分) 丸の内東桜ビル1004号室

TEL:090-4857-9130
URL: http://www.nygs-office.com/

冬山装備のメンテナンス工房

HAREYAMA

なにより「安全」のためです。命を守ってくれる相棒を大切に。

冬山装備のメンテナンス
アイゼン・ピッケル研ぎます

株式会社ウォームリンク
〒470-0135 愛知県日進市岩崎台1-130
Tel. 0561-72-2805

hareyama.net

印象に残った私の登山 40

雪山の難しさを
痛感した横尾尾根

多田 純一

2020年12月26〜30日

名古屋山岳会在籍時、横尾山荘から槍ヶ岳方面へ長く伸びる横尾尾根へSさん(リーダー)と行くことになった。一日目、新穂高ロープウェイ駐車場に車を置き、バスで釜トンネル前の中ノ湯まで行く。

中ノ湯で下車する時には雪が降っていたが横尾山荘に着する頃には雨に変わっていた。夜になっても雨と強い風が吹いていて山荘前の雪面には水たまりが出来上がっていた。

二日目、雪と風が強い。夜中の内に雪に変わったようだ。登山道から3のガリーへ入るものの雪崩が起きたら逃げ場がないので非常に気持ち悪い。尾根上はさらに風が強くと吹いていたが樹林帯のところは影響が少なかった。P4

の比較的平らな場所にできるだけ雪面を掘り下げて幕営する。雪も継続して降っていた。

三日目、快晴で出発。深雪の為、先行していた二人組パーテイと一緒に交代でラッセルすることにした。私は先頭ラッセルを終えて最後尾にまわり先頭から15m以上は離れていたが「ドスツ」と低い音が聞こえたので駆けつけると先行パーテイの1人が雪庇を踏み抜いてしまい槍沢側へ転落してしまふ。呼びかけにも応じなく雪庇の影になって転落者を確認できない。30分くらいして転落者が見えるところまで移動してくれた。かなり距離があり声がかすかに届く程度。なんとかやりとりを終えてヘリ救助の手配もできたので我々は先へ進むことにした。

すぐに「横尾の歯」だった。気を取り直し1ピッチでSさんがリードして越える。

四日目も快晴、横尾尾根を順調に抜け、槍ヶ岳山荘で荷物を下ろし山頂へ向かう。日

暮れが近くなっていたので山頂まで速攻で登り終えることができて大満足。

五日目、小屋の外へ出るとガスが濃く視程30m程度で風も強く暴風雪。ガミンのGPSナビを頼りに進むが大喰岳を目指し登り返すがゴーグルがボロでレンズの中に雪が入り込み視界が妨げられる。時々、平行感覚を失い動けなくなる。なんとか大喰岳西尾根に取付、下降し始めると風は弱まり、視界も少し良くなり安堵した。しかし、尾根から外れてしまい大喰沢に入りこんでしまふ。沢を下りながら尾根へ戻ろうとルートを探るが戻れないまま沢を下ってしまう。少しでも雪崩を避けようとして尾根側の積雪が薄いところをギリギリに攻めるも足元から簡単に雪崩が発生する。なんとか飛驒沢まで降りた後も槍平までラッセル続きでヘロヘロになる。19時に新穂高ロープウェイに到着する。

雪庇の怖さ、装備の大切さ、ルート取りのミス等、雪山の難しさを改めて知った印象に残る山行でした。(G・S・A)

令和6年能登半島地震へのお見舞い

この度の令和6年能登地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

また、被災者の救済と被災地の復興支援のためにご尽力されている方々に深く敬意を表します。

一日も早く復旧をされることをお祈りすると同時に、被災された皆さまが平穏な日々を取り戻せるよう、お祈り申し上げます。

令和6年1月

一般社団法人愛知県山岳・スポーツクライミング連盟
会長 伊藤智彦

編集後記

■編集委員会によるニュースの初号をお届けします。永年編集していただいたN氏の職人技を本手に、編集ソフトの力を借りて、充実した紙面と読みやすさを目指します。

■右記のように、元旦から大きな災害が起きました。私たちが楽しむ山々は日本の長い地殻変動の結果です。生活の基盤の強靱化を確認しつつ、良い山に登れる年にしたいと思えます。(KY)

うなぎ錦三丁目 い ば しょう
心 づ 界

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号
TEL <052> 951-1166 番
営業時間 午前 11:00~午後 2:30
午後 4:00~午後 8:00
定休日 日曜日・第二・第三月曜日